

長年の犯罪予防活動

保護司任期満了に伴い退任

保護司として活動してきた日添地区の佐々木省三さんが5月24日（木）付けで任期満了となり、保護司を退任しました。佐々木さんは平成10年5月25日に県から委嘱を受け、今日まで長期にわたり保護司としての活動に取り組んできました。保護司とは、保護司法に基づき、法務大臣の委嘱を受けて犯罪や非行に陥った人の更生を支援するもの。

保護司としての役割を終え、佐々木さんは「苦勞したこともありましたが、人の役に立つ仕事ができ、とても良い経験になりました」と話していました。



法務大臣から感謝状が贈られました

おいしいお米になあれ！

6月9日（土）、遊びの学校の活動プログラムのひとつとして、たまねぎ選果場付近の田んぼで田植え体験を行いました。今回は海洋クラブ会員や水俣市と合同で行い、約20人の小中学生が参加。子どもたちは準備された苗を手に取り、はだして田んぼの中へ入ると、普段慣れない泥の感触を楽しんでいました。横一列に並ぶと、水田に張られたひもに沿って、等間隔に苗を植え付けていました。

「大きく実るように丁寧に優しく植えてください」とのアドバイスを受け、子どもたちは隣の友達の様子も見ながら、しっかりと丁寧に苗を植えていました。



今回新しく配備された高規格救急車「前田号」

高規格救急車配備

水俣芦北広域消防署本部

6月19日（火）、水俣芦北広域消防本部で高規格救急車の贈呈式が行われました。これは昨年11月の芦北町の保育園理事長前田将さんからの寄付金3千万円を活用して購入したもの。前田さんは昨年6月に心臓発作で倒れ、救急隊に処置してもらったことに感謝して、同本部へ寄付金を贈呈。

これで水俣・芦北管内の救急車3台はすべて高規格救急車となりました。高規格救急車は以前のものと比べ、車内の救急医療設備がより充実したものです。今後の救命率の向上が見込まれます。

遊びの学校田植え体験活動



泥だらけになりながらも真剣に取り組みました

地元赤崎の海から塩作り



手作りの塩が出来上がると感動の声が上がっていました

「父の日」には牛乳を ホワイトレディー牛乳をプレゼント

6月11日（月）、ホワイト酪農協同組合から町長へ牛乳のプレゼントがありました。これは、牛乳の消費拡大を目指して、地元で生産された安全で安心な牛乳を消費者にPRするため「父の日に牛乳を贈ろうキャンペーン」の一環として行われたものです。

本町には酪農農家はいませんが、西日本一の酪農県である熊本県の中で球磨・芦北地域は有数の産地であり、多くの人が牛乳の生産に励んでいます。当日は、厳しい検査基準に合格した“安全でおいしい牛乳”をいただきました。



西川町長へ牛乳のプレゼント

塩作りとからだのワークショップ開催

6月10日（日）、現在つなぎ美術館で開催中の『夜はながくない展』の関連プログラムとして「塩作りとからだのワークショップ」が旧赤崎小で開催され、大人から子ども約20人が参加しました。今冬公開予定の映画『NOT LONG AT NIGHT - 夜はながくない -』の監督やスタッフ3人の指導のもと、塩と身体関係を学びながら塩作りを行いました。

塩作りに使用した海水は有明海と不知火海の海水をブレンドしたもの。途中、塩が出来上がるまでの工程を創作ダンスで表現。強い日差しの中、参加者はダンスを楽しんでいました。



園児たちは「食」の大切さを学びました

食育劇で健康を考える

津奈木保育園食育学習

6月15日（金）、津奈木保育園で食べ物と排泄の関係を考える食育劇が行われました。これは、3歳から5歳になる保育園児を対象に、町の食生活改善推進員（ヘルスメイト）が行ったもので、園児たちはヘルスメイトたちによる劇を熱心に聞きながら楽しんでいました。

劇の後に食物のグループ分けクイズが出題されると、園児たちは元気な声とともに一斉に挙手。当てられた園児は、今回の劇で学んだことを思い出して、みんなの前で自信いっぱい発表していました。